

瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.12.28 時点)

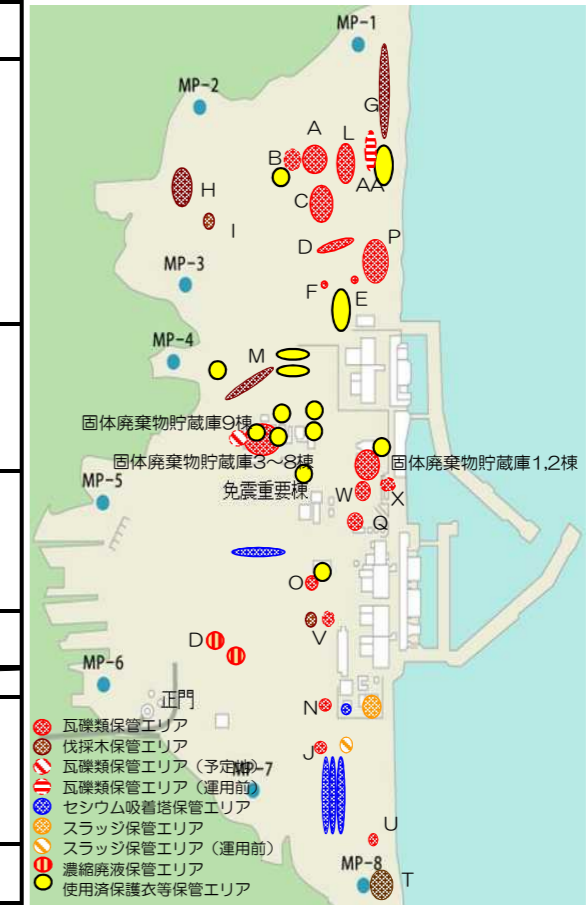
分類	保管場所	保管方法	エリア境界空間線量率 (mSv/h)	保管量	前回報告比*1 (2017.12.21)	変動*2 理由	エリア占有率	保管量**3 / 保管容量 (割合)	トピックス	
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	B	屋外集積	0.01未満	2,800 m ³	0 m ³	—	85%	164000 / 214300 (77%)	・フランジタンク解体片 エリアP1にて一時保管中。(2015年6月15日~) 2017年12月末時点で532基(コンテナ)保管。
		C	屋外集積	0.01未満	58,600 m ³	+1,300 m ³	①②	93%		
		F2	屋外集積	0.01未満	6,400 m ³	0 m ³	—	85%		
		J	屋外集積	0.02	4,300 m ³	0 m ³	—	53%		
		N	屋外集積	0.01未満	4,500 m ³	0 m ³	—	45%		
		O	屋外集積	0.01未満	38,700 m ³	+1,200 m ³	①②③	75%		
		P1	屋外集積	0.01	47,300 m ³	微増	m ³	—		
	U	屋外集積	0.01未満	0 m ³	0 m ³	—	0%			
	V	屋外集積	0.01	1,500 m ³	-700 m ³	④	—	26%		
	シート養生 (0.1~1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600 m ³	0 m ³	—	58%	29300 / 71000 (41%)	・エリアWでの車両解体(プレス等)がほぼ完了し受入開始。
E1		シート養生	0.02	13,500 m ³	+400 m ³	⑤	84%			
P2		シート養生	0.01	5,500 m ³	0 m ³	—	61%			
W		シート養生	0.05	2,100 m ³	+300 m ³	①	7%			
覆土式一時保管施設、仮設保管設備、容器 (1~30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	12,000 m ³	0 m ³	—	100%	21600 / 27700 (78%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。	
	A	仮設保管設備	0.25	5,500 m ³	+900 m ³	⑥	78%			
	E2	容器**4	0.02	300 m ³	0 m ³	—	19%			
	F1	容器	0.01未満	600 m ³	0 m ³	—	99%			
Q	容器	0.07	3,100 m ³	-900 m ³	⑦	50%				
固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物貯蔵庫	容器**4	0.02	9,300 m ³	+100 m ³	②	78%	9300 / 12000 (78%)	・主な瓦礫類は、1~3号機工事等で発生した瓦礫類。	
合計(ガレキ)				224,200 m ³	+3,600 m ³	—	69%			
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,100 m ³	微増	m ³	—	63%	96400 / 144500 (67%)
		I	屋外集積	-	0 m ³	0 m ³	—	0%		
		H	屋外集積	0.01未満	31,700 m ³	0 m ³	—	74%		
		M	屋外集積	0.01未満	39,500 m ³	0 m ³	—	88%		
	V	屋外集積	0.01	100 m ³	微増	m ³	—	1%		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200 m ³	0 m ³	—	88%	37300 / 41600 (90%)	
T		伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100 m ³	0 m ³	—	94%			
合計(伐採木)				133,700 m ³	0 m ³	—	72%			
保護衣	屋外集積	容器	0.04	59,900 m ³	-2,300 m ³	⑧	84%	59900 / 71200 (84%)	・使用済保護衣等焼却量 3257t (2017年12月末累積) ・焼却灰のドラム缶数 712本 (2017年12月末累積)	
合計(使用済保護衣等)				59,900 m ³	-2,300 m ³	—	84%			
仮設	瓦礫類	U(仮設分)	屋外集積	0.01未満	700 m ³	0 m ³	—		・タンク設置スペース確保に伴い、エリアUより持込み。	
合計(仮設運用エリア)				700 m ³	0 m ³	—				

※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは100m³未満の増減を示す。
 ※2 主な変動理由: ①タンク設置工事 ②1~4号建屋周辺瓦礫撤去関連工事 ③一時保管エリアVから瓦礫の受入 ④瓦礫を一時保管エリアOに移動 ⑤フェーシング工事
 ⑥一時保管エリアQから瓦礫の受入 ⑦瓦礫を一時保管エリアAに移動 ⑧焼却運転

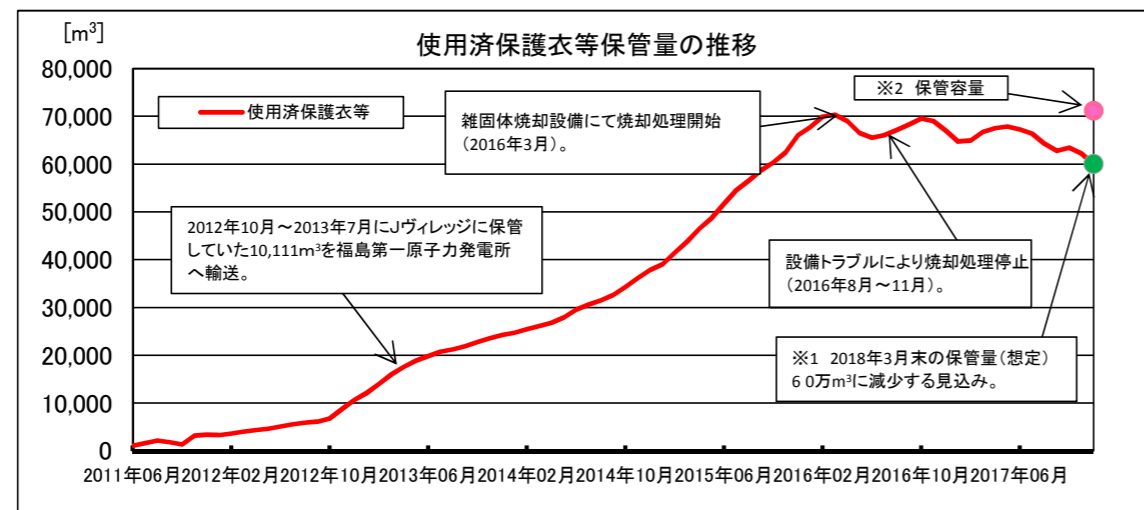
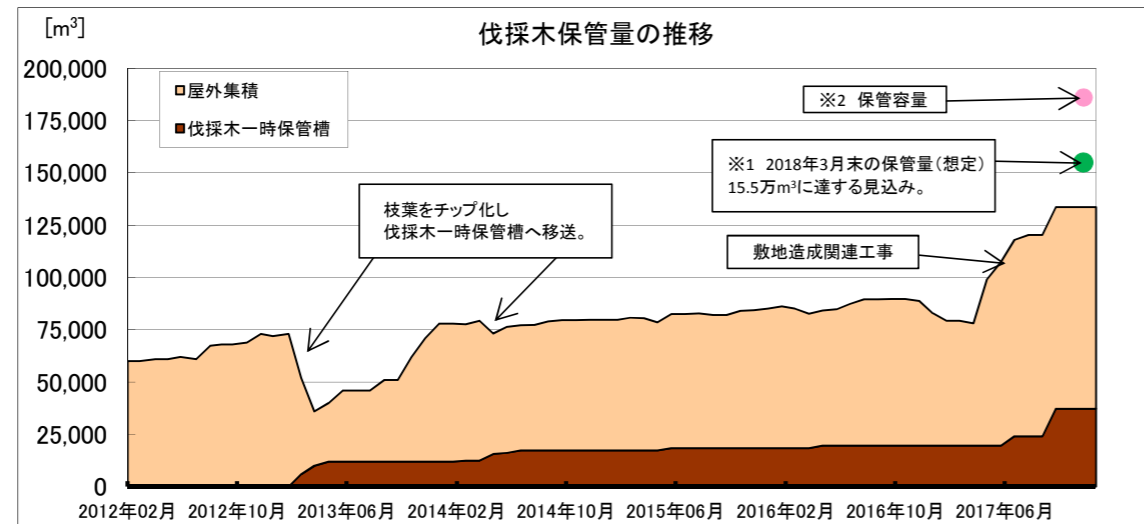
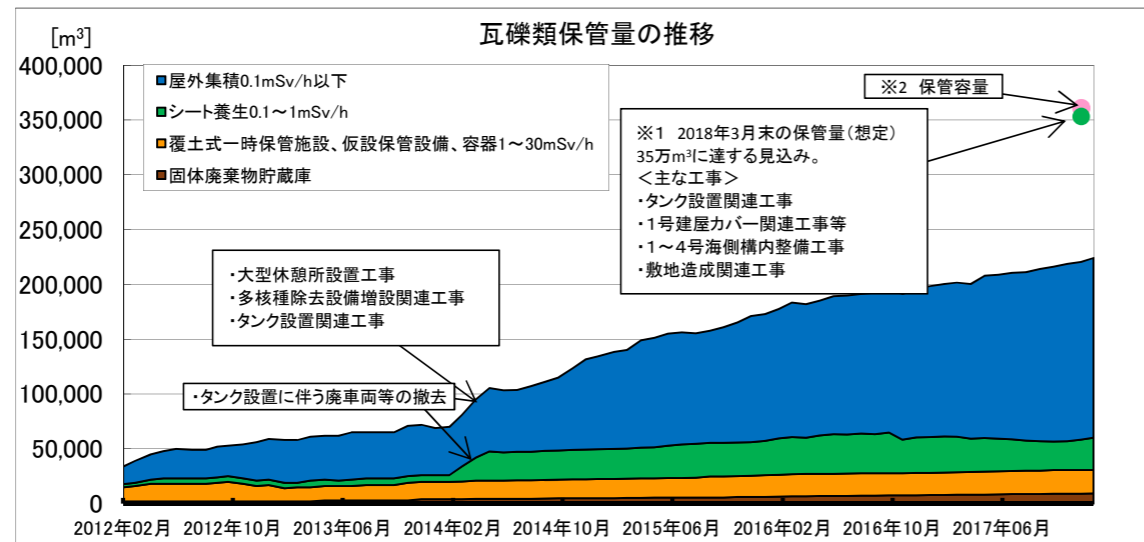
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
 ※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.1.4時点)

分類	保管場所	種類	保管量	前回報告比 (2017.12.21)	保管量 / 保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次廃棄物	使用済吸着塔保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル	763 本	+4 本	3865 / 6368 (61%)	・吸着塔一時保管施設の増容量が認可(2015年12月14日) ・使用前検査完了(2017年5月26日)に伴う保管容量増(第四施設架台129塔分)
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル	192 本	0 本		
		多核種除去設備等保管容器	1,446 基	0 基		
		増設	1,184 基	+21 基		
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	73 本	0 本		
		多核種除去設備処理カラム	11 塔	+2 塔		
モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類	196 本	+1 本				
廃スラッジ貯蔵施設	廃スラッジ	597 m ³	0 m ³	597 / 700 (85%)	・除染装置の運転計画は無く、新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。	
濃縮廃液タンク	濃縮廃液	9,319 m ³	-22 m ³	9319 / 10700 (87%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場バトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量: 9219 [m] タンク底部~水位計の保管量(DS): 約100[m]	



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2017.12.28 時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2017年3月1日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、実施計画(2017年3月1日認可)の保管容量の運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2018.1.4時点)

